

参考事例

KOBE PLASTIC NEXT

HOME PROBLEM NEXT CONTACT



プラスチックごみ削減

使い捨てプラスチック削減に向けた「マイボトル推進運動」にご協力ください。

2023.02



KOBE PLASTIC NEXT**HOME PROBLEM NEXT CONTACT**

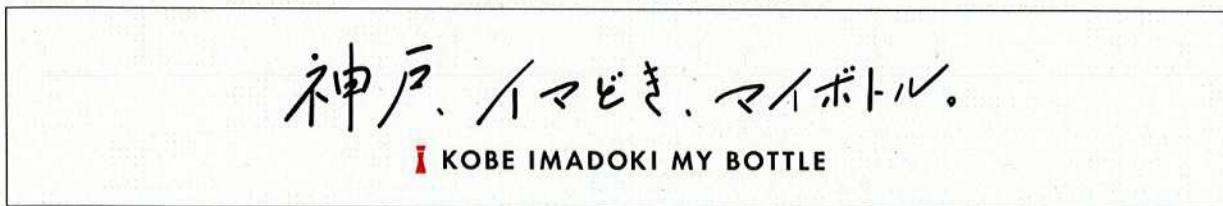
1.マイボトル利用啓発PR動画と特設サイトを公開中です!

神戸市・象印マホービン株式会社・甲南女子大学は、マイボトル利用促進に向けた取組みとして、日本で一番マイボトルが似合う街を目指すというコンセプトのもと、プラスチックごみ削減に向けてマイボトルの利用を啓発するPR動画・特設サイトを制作しました。

いまどきのマイボトルライフを体現する大学生が、神戸を街歩きしながらマイボトル利用を呼びかけ、マイボトルを毎日の生活に取り入れる知識やアイデアを紹介しています。

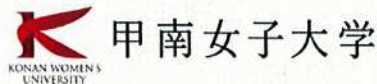
PR動画(神戸市公式youtube)(外部リンク)

特設サイトは以下バナーをクリックしてご覧ください!(外部リンク)



2.象印マホービン・甲南女子大学と産学官連携協定を締結しました!

このたび、神戸市・象印マホービン株式会社、甲南女子大学は、ワンウェイプラスチックごみ削減に向けたマイボトルの利用普及など環境関連分野の取組みを推進するため、産学官連携協定を締結しました。今後、産学官それぞれの強みを活かした普及啓発等によって、マイボトルのあるライフスタイルの促進に取り組んでいきます。



●協定の目的

神戸市・象印マホービン株式会社・甲南女子大学の相互連携による普及啓発活動を通じ、使い捨てプラスチックごみ削減に向けたマイボトル利用普及など環境関連分野における取組みを積極的かつ効果的に推進し、市民の機運醸成や行動変容を促すことを目的とします。

●連携協定に基づく取組み

KOBE PLASTIC NEXT

HOME PROBLEM NEXT CONTACT

二台協賛の上、天加刀広守を長体的に取り次め、順次展開していきま。

<市内イベント等でのマイボトル利用啓発ブース設置>

啓発ブースの共同設置及びブースでの啓発活動

<市内の給水スポット等の拡大及びPR>

水の無償提供に協力いただける店舗、マイボトル利用可能店舗の開拓

甲南女子大学生による上記店舗のPR活動及びSNS等での情報発信

<その他>

マイボトル利用促進に関する学生アンケートの実施

給水・給茶スポットの利用に対し神戸市環境局エコアクションアプリ「イイことぐるぐる」のポイントを付与

KOBEエコアクション応援アプリ「イイことぐるぐる」について(外部リンク)

3. mymizuアプリを活用しよう!

「mymizu」をダウンロードすれば、アプリ内のマップで、外出中どこにいても、お近くの水の無償提供協力店を調べることができます。

さらに給水を記録することで、水分補給量やペットボトル削減量も見える化されます。

また、お店として給水パートナーとして参加したり、ユーザーとして新しく発見した公的水飲み場を投稿したりもできますよ!ダウンロードは無料なので、ぜひご利用ください。

mymizu 日本初の給水アプリ(外部リンク)

mymizuへの店舗登録(外部リンク)



mymizu

「mymizu」アプリとは?
給水スポット紹介アプリ。
全世界で20万箇所以上、
日本国内で8,500箇所以上の
給水スポットが登録されています。

24
1,101,100
24%
0.5/2L

Mac App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう

4. 上島珈琲でマイボトルを使用して「イイことぐるぐる」ポイントを貯めよう!

KOBE PLASTIC NEXT

HOME PROBLEM NEXT CONTACT

〒110-0001 東京都台東区上野4-1-10 上野駅前ビル10F

上島珈琲店の店舗情報は下記ホームページでご確認ください。

[上島珈琲店の店舗情報\(外部リンク\)](#)

[KOBEエコアクション応援アプリ「イイことぐるぐる」について\(外部リンク\)](#)

5.【関西広域連合】マイボトルスポットMAPでマイボトル利用可能店舗を探そう!

神戸市も加盟している関西広域連合においても、使い捨て容器の削減を目指してマイボトルの推進に取り組んでいます。

このたび、マイボトルを利用できる店舗を掲載する「マイボトルスポットMAP」が完成しました。外出先でも検索できるようにスマートフォンにも対応していますので、ぜひご利用ください。

[マイボトルスポットマップ\(外部リンク\)](#)

6. 無印良品での環境の取組みについて

神戸市とフードドライブで連携している無印良品では、全国の一部店舗に給水機が設置されており、マイボトルを持参することで利用できます。専用アプリでは、利用者のペットボトル削減量及びCO2削減量が表示されます。

[無印良品の、水プロジェクトを開始します。\(外部リンク\)](#)

いいね! シェアする コメント

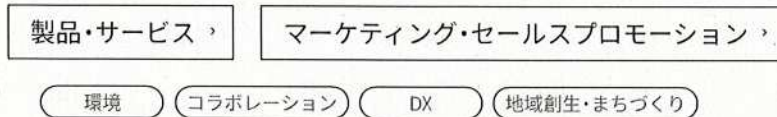
NEXT

プラスチックのこれから

2023年4月21日

官民連携で実施した「プラスチック資源循環の見える化」の実証実験結果を発表

約9割の生活者の意識が、リサイクル過程の情報公開に前向きに変化



大日本印刷株式会社(DNP)は、埼玉県「プラスチック資源循環の見える化」の実証実験に、民間企業7社の1社として2022年11月から取り組んでいます*1。生活者から回収した資源をリサイクルする過程でのCO₂排出量等を可視化して発信するとともに、それによる生活者のリサイクルに対する意識変容の効果を検証しました。今回、プラスチック資源の店頭回収から、再資源化、再生した資源を活用し製品化するまでの全工程の情報を集約して数値化し、Webサイトで広く公開しました*2。

*1 関連リリース：https://www.dnp.co.jp/news/detail/20168509_1587.html

*2 効果検証の結果を紹介するWebサイトURL：<https://green-recycle-project.com/>



実証実験の実施スキーム

実証実験の成果

1. トレーサビリティを確保しCO₂排出量などを算定

株式会社 J E M S の「Circular Navi」を用いて、各工程の事業者の作業履歴をデータ管理し、リサイクルして資源化した量や、資源の再利用による製品の組成・再生材含有率などを把握するとともに、回収から製品製造までに使った原料とエネルギーからCO₂排出量を算定しました。

2. 収集した情報を活用し、リサイクルに対する生活者の意識を醸成

本実証実験を通じて収集した環境負荷低減に関するさまざまなデータ・情報は、全事業者で共有するとともに、Webサイト等でわかりやすく発信してリサイクルに対する生活者の意識醸成を図りました。また今回、回収した資源を再利用してボールペンを製造し、回収を実施した店舗の来店者に提供して、この取り組みについて紹介しました。



Webサイトにアクセスした人を対象に行った意識調査では、「回収に出したものがちゃんと再利用されていることが確認できた」「数値だと実感しにくい削減量が身近に感じられた」など、約9割の生活者から好意的な回答を得ることができました。リサイクル工程を可視化して情報を開示することは、生活者の前向きな行動変容に効果的であると分かりました。

■アンケート結果(抜粋)

webサイトについて特に良いと思った内容について教えてください。(複数選択可)			
	回答数	割合	
回収され、資源になった量が分かること	246	67.6%	67.6%
数値だと実感しにくいCO ₂ の削減量が身近に感じられたこと	236	64.8%	64.8%
リサイクルの工程がわかりやすかった	122	33.5%	33.5%
リサイクルに関わる企業(埼玉の地元企業)が知れたこと	105	28.8%	28.8%
その他	7	1.9%	1.9%

N=364 E/Web.364 E

3. 参画企業間の相互理解促進

多くの事業者はこれまで、自工程の前後の事業者とだけつながっていることが多く、リサイクルスキーム全体でのコミュニケーションが十分ではないという課題がありました。今回、参画した全7社が全体のスキームを把握し、各社の役割や作業内容の理解を深めることで、より良いリサイクルを実現していくための検討を行うことができました。

今後の展開

本実証実験の成果を活かし、各業界における資源循環施策や、環境負荷低減に向けた生活者の行動を促すコミュニケーション施策などを強化していきます。あわせて、トレーサビリティを高めることで収集可能となる情報を活かして、生活者の価値に転換していくより良い手法を検討していきます。

DNPは2022年10月に、環境配慮デザインチーム「DNP GREEN PARTNER」を立ち上げ、環境問題の解決に取り組む企業・団体と並走してその活動を総合的に支援するほか、環境負荷低減に向けた生活者の行動変容を促進する取り組みなどを行っています。すべての業種・業界のステークホルダーとともに、持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らしの実現につなげていきます。



*「DNP GREEN PARTNER」について → https://www.dnp.co.jp/biz/theme/dgp_biz/

いいね! シェア ポスト 共有する メール 印刷

ニューストップへ

発表時期

発表時期(年)を

発表時期(日)を

ニュース内検索

注目のトレンドタグ

人的資本

地域創生・まちづくり

DX

認証・セキュリティ

メタバース

カテゴリ

企業情報 製品・サービス 研究開発 グローバル展開 IR

サステナビリティ イベント 外部メディア掲載 グループ会社からのお知らせ

検索

参考事例③

[ホーム](#) > [ニュース](#) > [ニュースリリース](#) > 京都府綾部市と「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」を締結

ニュースリリース

京都府綾部市と「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」を締結

「ボトルtoボトル」協働事業により日本国内のPETボトルの循環利用を推進

2024年01月10日

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（本社:東京都港区、代表取締役社長 最高経営責任者:カリン・ドラガン、以下 当社）は、本日2024年1月10日、京都府綾部市および遠東石塚グリーンペット株式会社とPETボトルの水平リサイクル「ボトルtoボトル」（※）の実施を目的とした「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」（以下、本協定）を締結しました。

（※）使用済みPETボトルを回収・リサイクル処理したうえでPETボトルとして再生し、飲料の容器として用いること。

【京都府綾部市における「ボトルtoボトル」協働事業プロセス】



当社、綾部市および遠東石塚グリーンペット株式会社は、本協定の下、同市内の集積所で回収された使用済みPETボトルを新たなPETボトルに再生する、「ボトルtoボトル」協働事業を2024年4月より開始します。回収された使用済みPETボトルは、遠東石塚グリーンペット株式会社が再原料化し、当社各工場にてコカ・コーラ社製品の容器に使われます。

当社は、コカ・コーラシステムが目指す「容器の2030年ビジョン」（注）において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。このたびの本協定締結により、当社、綾部市および遠東石塚グリーンペット株式会社は、市民・行政・事業者の三者が一体となり、日本国内におけるPETボトルの循環利用への貢献を目指します。

【締結式の様子】



左から、綾部市長 山崎 善也様、当社経営戦略本部 サスティナビリティ戦略統括部長 計良 裕一

(注) 「容器の2030年ビジョン」 (<https://www.ccbji.co.jp/csv/environment/?id=tab1>)

日本のコカ・コーラシステムは、「ボトルtoボトル」の推進などを通じ、2030年までにすべてのPETボトルを100%サステナブル素材(※)に切り替えることなどを骨子とした「容器の2030年ビジョン」の実現に取り組んでいます。

(※) サステナブル素材：「ボトルtoボトル」によるリサイクルPET素材と、植物由来PET素材の合計

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

◀ 戻る



高校生活の日常で発生する食品ロス削減をドラマ形式で啓発 | 姫路市

2023年1月13日 06:00

姫路市が”もったいない”食品ロスを少しでも削減するための啓発動画を姫路市立姫路高等学校（通称：市姫、姫高）の協力で作成。

高校生活の日常で発生する食品ロスから、自分たちにできる食品ロス削減をドラマ形式で啓発する動画は全部で6つ。

なお、作成された動画は、市内の大型ビジョン、庁内モニターでの放映のほか、姫路市公式YouTubeチャンネル「HimejiCityCh」で配信されます。

また、マックスバリュ西日本株式会社と連携し、マックスバリュの市内3店舗で放映をおこない、消費者に対し食品ロス削減を促します。

動画

公開場所・公開日

姫路市公式YouTube「HimejiCityCh」	令和5年1月10日（火曜日）から
大型ビジョン・庁内モニター	令和5年2月1日（水曜日）から



市内のマックスバリュ

令和5年2月頃（予定）

第1話 期限表示と魔の真実（1分39秒）

※トップ動画

第2話 手前取りと盗み聞き（53秒）



第3話 在庫管理はロスの香り（1分23秒）





第4話 大食いは家族の愛 (1分47秒)



第5話 持ち帰りは四人の意識 (1分25秒)





エピローグ 向かう先と志のカタチ (2分48秒)



HAVARY'S

RECYCLE ECOSYSTEM

1本の水から世界が変わる

再生可能素材をリサイクルして循環型社会へ
ハバリーズからもう一歩踏み込んだアクションのご提案

「紙から紙への再生」見える化 リサイクル推進



ハバリーズリサイクル便とは



ハバリーズリサイクルトイレットペーパー
2枚重26.5mX12ロール入り
リサイクル発注伝票あり
1980円(税込)
*写真ではトイレットペーパーに覆包装ができておりますが、実際は
ボックス内の留め装置はされておらず、ご注意ください。

再生可能素材なら再生させよう、という想いからハバリーズを通じて具体的な「紙から紙」
のリサイクル循環に参画してもらうべく、誕生しました。
ハバリーズを選ぶだけでも環境負荷軽減ですが、もう一歩踏み込んだアクションとして新提
案です。
トイレットペーパーの多くは木材パルプからつくられており、世界中で毎日伐採されている森
林の10%がトイレットペーパーによるものだとされています。
このようなバージンパルプによる製品を消費するのではなく、再生トイレットペーパーを選ん
でみませんか？

ハバリーズリサイクルトイレットペーパーのボックスには送料無料の伝票が入っているので、
飲み終えたハバリーズを詰めてリサイクルに出すことができます。
まずは身近なリサイクルを始めてみませんか？

リサイクル方法

※法人の方は別途お問い合わせください。





HOME公式リリースコラボレーション納入事例セミナー講演メディア掲載コラムリサイクルお知らせ



紙パックの水・ミネラルウォーターハバリーズTOP » (https://havarys.com/) NEWS (https://havarys.com/blog) » コラボレーション (https://havarys.com/blog/collaboration/) » JR西日本ホテルズとハバリーズが、サステナブルなコラボレーションを実現

© 2023.12.7 (https://havarys.com/blog/2023/12/)

JR西日本ホテルズとハバリーズが、サステイナブルなコラボレーションを実現

客室用紙パック製のナチュラルウォーターをホテルチェーン全体で取り組むのは、国内初！

このたび、株式会社ハバリーズ（本社：京都府京都市、代表取締役：矢野 玲美、以下ハバリーズ）と株式会社ジェイアール西日本ホテル開発（本社：京都府京都市、代表取締役社長：伊勢 正文、以下JR西日本ホテルズ）が展開する取り組みにおいて、JR西日本ホテルズの3ブランド9ホテルは、客室用紙パック製のナチュラルウォーターの採用を実現しました。ホテルチェーン全体では、国内初の取り組みとなり、両社は、このコラボレーションを通じて、サステナブル（持続可能）な環境社会への貢献を目指します。本取り組みは、京都市主催の宿泊施設と地域企業のビジネスマッチング商談会「コトノムスビ・プロジェクト」1を通じて両社のマッチングが実現し、サステナビリティや環境配慮への思いが一致しました。JR西日本ホテルズでは、SDGsの取り組みの一環として、2023年12月初旬2より下記のホテルにおいて、JR西日本

ホテルズオリジナルデザインの紙パックウォーターが順次導入されます。なお、本取り組みによってホテルチェーン全体で、年間117トン*3のCO2削減が期待されます

[プレスリリース\(https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000060714.html\)](https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000060714.html)



カテゴリ

公式リリース

(https://havarys.com/blog/official-release/)

コラボレーション

(https://havarys.com/blog/collaboration/)

納入事例

(https://havarys.com/blog/case/)

セミナー講演

(https://havarys.com/blog/%e3%82%bb%e3%83%9d)

メディア掲載

(https://havarys.com/blog/publication/)

コラム

(https://havarys.com/blog/column/)

リサイクル

(https://havarys.com/blog/recycling/)

お知らせ

(https://havarys.com/blog/information/)

アクセスランキング

1 JR西日本ホテルズとハバリーズが、サステイナブルなコラボレーションを実現

(https://havarys.com/blog/2023/12/jr%e8%a5%bf)

2 ポルシェジャパンCEO×ハバリーズCEOのサステナビリティ対談インタビューby OPENERS

(https://havarys.com/blog/2023/05/%e3%83%9d)

3 環境新聞にて掲載 リサイクルの「見える化」、推進セルリアンタワー東急ホテルが全室に採用

(https://havarys.com/blog/2023/08/%e7%92%b0%e3%83%aa%e3%82%b5%e3%82%a4%e3%82%af)

4 G7広島サミット2023にて 環境配慮が低い紙パック(紙容器)ミネラルウォーターの全面的採用

(https://havarys.com/blog/2023/05/g7%e5%ba%83)

5 The Japan Times 新聞インタビュー記事掲載 ハバリーズCEO Remi Yano サステナブル対談

(https://havarys.com/blog/2023/01/the-japan-times/)

【導入ホテル】 ホテルグランヴィア京都、ホテルグランヴィア大阪、ホテルグランヴィア和歌山、ホテルグランヴィア岡山、ホテルグランヴィア広島、ホテルヴィスキオ京都、ホテルヴィスキオ大阪、ホテルヴィスキオ尼崎、奈良ホテル

株式会社ハバリーズは「1本の水から世界が変わる」という想いのもと、SDGsの価値観に基づいてCO2削減、リサイクル循環、水源保全を推進しています。パッケージの原料はFSC認証4を取得した再生可能資源とボンスクロ認証*5を取得したサトウキビ由来キャップが使用され、物流を含め、責任ある資材調達を果たしています。これらの紙容器は従来のペットボトルより46%以上、アルミ缶より59%以上CO2排出量の低減を実現しています。(LCA評価より6) さらに1本につき1円が環境保全に寄付されるほか、ハバリーズリサイクルエコシステムを通じて再生トイレトペーパーへの資源循環も推進し、サーキュラーエコノミー実現に貢献しています。またハバリーズを通じて削減したCO2の算定(数値化)を行い、企業や事業者のカーボンニュートラルに対するマインドセットを促進させる取り組みも開始しました。

※1,000mlパッケージに関しては、ハバリーズデザインとなります。



JR西日本ホテルズは、JR西日本グループとして、関西圏を中心に、現在4ブランド、11ホテル(3,620室)を展開するホテルグループです。「上質な旅の基点」として、京都、岡山、広島など新幹線およびターミナル駅直結の安心感を基盤に、地域と共にお客様を魅了するフルサービス型のホテルグランヴィア、「スマートな旅の基点」として、京都、大阪、尼崎など駅への抜群のアクセスと先進的なサービスを提供する宿泊主体型のホテルヴィスキオ、価値ある出会いが行き交うコミュニティ型の梅小路ホテル京都、そして、創業1909年、時空を紡ぎ、今なおノスタルジックな世界観を提供する奈良ホテルなど、多彩なブランドを展開しています。

JR西日本ホテルズでは、「街とともに生きるホテルとして、未来のために、今、私たちができること」をスローガンに、日々SDGs(持続可能な開発目標)の理解を深め、様々な取り組みを実践しています。

「駅」から始まり誠実に積み重ねてきた信頼を発展させ、地域と共に、お客様一人ひとりの豊かな人生を広げ、これからも、世界に誇れるサービス水準をめざし、旅の魅力や人々の繋がりを創り続けます。

今回のパッケージはハバリーズとJR西日本ホテルズが共同でデザインを行い、西日本の風景と水のサステナビリティが調和するデザインになっています。

ハバリーズ代表取締役の矢野 玲美は次のように述べています。

「今回、このような素晴らしいお取り組みをJR西日本ホテルズ様と協業できることをとても光栄に思っております。世界中で脱プラスチックや脱炭素の動きが加速する中で、多くの企業が責任をもってCO2削減に取り組んでいます。同時にインバウンドを含む国内外のお客様もサービスや商品を選択する判断の一つとして企業の環境配慮への取り組みに注目しています。ホテル・宿泊施設はペットボトル消費量が多い業界の一つですが、今回の取り組みによって宿泊されるお客様に両社のサステナビリティへの想いを伝え、環境配慮への意識を変えていくことへ貢献し続けていきたいと思っております。」

ジェイアール西日本ホテル開発カンパニー統括本部ブランド戦略部の福島ちあき氏は次のように述べています。

「JR西日本ホテルズでは、『街とともに生きるホテルとして、未来のために、今、私たちができること』をスローガンに、日々SDGsの取り組みを行っております。プラスチック製品の削減では、これまで客室用バスアメニティ製品等を、環境配慮素材へ変更する取り組みを行っておりますが、更なる削減を検討する中で、ハバリーズ様と出会い、同社のサステナビリティに対する想いに賛同し、導入することになりました。今回の取り組みを機に、SDGsの取り組みを更に推進し、すべての人と環境にやさしいホテルの実現をめざしたいと思っております。」

京都市観光政策監の土橋聡憲氏は次のように述べています。

「今回、本市のビジネスマッチング商談会『コトノムスビ・プロジェクト』を通じて、ハバリーズ様とJR西日本ホテルズ様の協業という大きな成果につながったことを大変うれしく思います。」

昨今、日本でも旅行者のサステナブルな観光に対する意識が高まってきました。このような中、京都市では「持続可能な京都観光の実現」を進めるため、令和2年に京都観光行動基準（京都観光モラル）^{*7}を策定し、観光事業者や観光客の皆様に向けて、その思いを共有するため周知・啓発に取り組んでいます。

今回のように、サステナブルな取組を進めておられる京都の地域企業のハバリーズ様と、京都を代表する宿泊施設を運営されているJR西日本ホテルズ様が出会い、連携され、市民生活や環境にも配慮した取組を進められることは、まさに京都の魅力を未来につなぐ「持続可能な観光」の実現に資するものであり、本市としても大変心強く感じています。

今後のハバリーズ様、JR西日本ホテルズ様のより一層の事業の発展を願うとともに、今回結びついた両社の御縁が長く続くことを期待しています。」

ハバリーズは、今後もJR西日本ホテルズのようにサステナブルな活動を積極的に行っている企業とともに、サステナビリティへの想いを発信し持続可能な形で事業に取り組んでまいります。

*1：京都市内の宿泊施設と、伝統産業製品や京都産食材、SDGs配慮商品等を扱う市内事業者とのビジネスマッチングを展開し、京都ならではの自然、ものづくりの魅力を活かした宿泊サービスの質の向上を図ることで、観光客の満足度を高めるとともに、地域活性化や京都経済の好循環につなげる事業

*2：ホテルによって導入時期が異なります。また先行的にハバリーズデザインボトルを導入している場合がございます。

*3：ペットボトル年間消費量より算出しております。

*4：持続可能な森林活用・保全を目的として誕生した、「適切な森林管理」を認証する国際的な制度です。

*5：持続可能なサトウキビの生産・加工・貿易を認証する制度です。

*6：LCA（Life Cycle Assessment、ライフサイクルアセスメント）とは、製品の資源採取から原材料の調達、製造、加工、組立、流通、製品使用、さらに廃棄にいたるまでの全過程（ライフサイクル）における環境負荷を総合して、科学的、定量的、客観的に評価する手法です。

*7：持続可能な観光をこれまで以上に進めるとともに、京都が京都であり続けるために、観光事業者・従事者等、観光客、市民の皆様とともに大切にしていきたいこととして、令和2年11月に策定した行動基準です。

株式会社ハバリーズ

〈お問い合わせ先〉

075-708-8880 / info@havarys.com / <https://havarys.com>(<https://havarys.com>)

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発

〈お問い合わせ先〉

カンパニー統括本部 ブランド戦略部

075-342-5501 / brand@hotels.westjr.co.jp / <https://www.hotels.westjr.co.jp/>
(<https://www.hotels.westjr.co.jp/>)

Previous

ハバリーズとアウトディがコラボレーションを通じてカーボンニュートラルに貢献

(<https://havarys.com/blog/2023/08/%e3%83%8f%e3%83%90%e3%83%aa%e3%83%bc%e3%82%ba%9>)

こんな話題も

ハバリーズとアウトディがコラボレーションを通じてカーボンニュートラルに貢献

(<https://havarys.com/blog/2023/08/%e3%83%8f%e3%83%90%e3%83%aa%e3%83%bc%e3%82%ba%e3%81%a8%e3%82%a2%e3%82%a6%e3%83%87%e3%82%a3%e3%82%a4%e3%82%a4%e3%82%af%e3%83%ab%e3%81%ae%e3%80%9d%e8%a6%8b%e3%81%88%e3%82%8b%e5%8c%96%e3%80%9f%e6%8e%a8%e>)

環境新聞にて掲載 リサイクルの「見える化」、推進 セルリアンタワー東急ホテルが全室に採用

(<https://havarys.com/blog/2023/08/%e7%92%b0%e5%a2%83%e6%96%b0%e8%81%9e%e3%81%ab%e3%81%a6%e6%8e%b2%e8%bc%89-%e3%83%aa%e3%82%b5%e3%82%a4%e3%82%af%e3%83%ab%e3%81%ae%e3%80%9d%e8%a6%8b%e3%81%88%e3%82%8b%e5%8c%96%e3%80%9f%e6%8e%a8%e>)

G7広島サミット2023にて 環境配慮が低い紙パック(紙容器)ミネラルウォーターの全面的採用

(<https://havarys.com/blog/2023/05/g7%e5%ba%83%e5%b3%b6%e3%82%b5%e3%83%9f%e3%83%83%e3%83%882023%e3%81%ab%e3%81%a6/>)



havarys_official(https://www.instagram.com/havarys_official)



havarys(<https://fb.me/havarys>)



info@havarys.com(<mailto:info@havarys.com>)

Welcome to HAVARY'S

HOME (<https://havarys.com/blog/>) 公式リリース (<https://havarys.com/blog/official-release/>) コラボレーション (<https://havarys.com/blog/collaboration/>)
納入事例 (<https://havarys.com/blog/case/>) セミナー講演 (<https://havarys.com/blog/%e3%82%bb%e3%83%9f%e3%83%8a%e3%83%bc%e8%ac%9b%e6%bc%94/>)
メディア掲載 (<https://havarys.com/blog/publication/>) リサイクル (<https://havarys.com/blog/recycling/>) コラム (<https://havarys.com/blog/column/>)
お知らせ (<https://havarys.com/blog/information/>)

「1本の水から世界が変わる」



© HAVARY'S